



▲普及員の資格取得を目指し普通救命講習に参加する小木曾さん



▲男性団員の放水練習に参加したことも。ホースを操るのは想像以上に難しい



▲小木曾 あさみさん



▲小山 晏美さん



▲島田 菜さん



▲神田 郁美さん



▲中川 洋子さん



▲高橋 美和さん

女性団員の皆さん



▲防災リーダー講習会で応急手当の普及員として、AEDの使い方などを説明する島田さん

中川さん 今年の消防団総合訓練では、男性団員とともに福生消防署の指導を直に受けることができました。とても有意義な経験でした。そういう訓練の時の緊張感と、訓練後の女性団員同士の楽しい

神田さん 団員同士で協力しながら、地域の安全・安心を担う活動に携われていることに嬉しさを感じています。そこが原動力になって... 小本曾さん 先日普通救命の講習を受講しました。必要な時にきちんとした対処ができるように、また1人でも多くの方に応急救護の方法を伝えられるように、普及員の資格も早く取って、頑張っていきたいです。

島田さん 私の場合には主人も消防団員なのでお互い様ですが、帰るのが遅くなる時など、協力してもらっています。中川さん 妊娠、出産後は参加が難しくなり、退団も考えました。でも、無理のない範囲でいいとお話をいただき、しばらく休んで活動を再開しました。今は仕事と家庭を持ちながら、無理せず活動を続けています。

小山さん 私は学校やアルバイトなどがありますが、消防団の活動はほとんど夜間や土日です。事前に日程調整もするので、無理なく参加できます。

高橋さん 誰かの役に立つ術を身に付けることに魅力を感じるし、勉強になることがとても多いです。新型コロナウイルスが流行する前は、活動だけでなく、食事会などをすることもありました。仲間と楽しい時間が過ごせるのも魅力の1つです。

——活動とプライベートはどのように両立していますか——

小山さん 私は学校やアルバイトなどがありますが、消防団の活動はほとんど夜間や土日です。事前に日程調整もするので、無理なく参加できます。

羽村市消防団 清水 貢 団長. 近年、女性団員の活動は非常に幅広くなっており、市民の皆さんへの応急救護指導をはじめ、夜間の火災予防広報、多種多様な訓練や講習会、お子さんへの防災教育などを行っています。女性ならではの視点で活動をする女性団員は今後の防災体制の要であり、まさに必要不可欠な存在です。現在、羽村市消防団には6人の女性団員が在籍していますが、まだまだ人数が足りない状況です。羽村市の安全・安心を守る新しい仲間を募集しています。

私たちがまちを守りたい！ 羽村市消防団本部 女性団員

羽村市消防団には11月1日現在、186人が在籍していて、本部と6つの分団で構成されています。本部には現在6人の女性団員がいます。女性団員の皆さんが、なぜ消防団の活動に携わるのか、活動の魅力はどこにあるのか、お話を伺いました。

——女性団員はどんな活動をしているのですか—— 高橋さん 主に広報活動と応急手当の普及員（指導員）としての活動です。広報活動では、秋や歳末など、火災が多い時期の夜間に、指令車*に乗って市内をパトロールします。また応急手当の普及員として、地域での普通救命講習などで、講師のサポートをしています。

小山さん 私は幼い頃から消防団員だった父の姿を見て、憧れていました。地域に関わる活動がしたかったこともあり、入団しました。島田さん 私も父が消防団員として活動していて、格好いいなと思っていました。弟が社会人になった時、一緒に入団しました。父や弟には活動について相談に乗ってもらったりもします。消防活動は家族の団らんには欠かせません（笑）。

——なぜ消防団に入ろうと思ったのですか—— 小本曾さん 子どもが学校で消防少年団のお知らせをもらってきて、自分でも関心を持ちました。今年、事故で人が救助されているところを見ました。そのような場面に自分が居合わせた時に役に立てるように、知識を身に付けたいと思っただけです。神田さん 成人式で女性団員募集のチラシを見て、地域に根付いた活動で、周りの人や家族を守る術を身につけたいと思いました。

高橋さん 就職して1年目に、職場内の自衛消防隊に選ばれて活動したことがきっかけです。初めは1期（2年）のつもりでしたが、あつという間に5年経ちました。今は班長として活動しています。

——活動の魅力はどこにありますか—— 島田さん いつもは応急救護訓練を指導することが多いですが、男性団員と一緒に訓練では、規律や機材の使い方など、自分が知らないことを教わったり、さまざまな考えを聞くことができ、勉強にもなります。

※指令車：火災現場に真っ先に駆け付け、迅速な情報収集活動を行うための車両。広報活動やパトロールにも使っている。

▶指令車で市民に火の用心を呼びかけるアナウンスをします





BS 新日本のうた

羽村市制施行30周年記念

観覧者募集

令和4年1月27日(木)

午後6時開演

(開場…午後5時20分)

会場 ゆとろぎ大ホール

入場無料 (入場整理券が必要です)

※申込多数の場合は抽選

主なゲスト



山内恵介



三山ひろし



藤あや子

「新・BS日本のうた」は、日本人の心に深く残る数々の歌、「日本のスタンダード・ナンバー」ともいべき名曲を、豪華な出演者とともにお届けする人気の音楽番組です。

羽村市制施行30周年を記念して、羽村市で公開収録を行います。

出演 (五十音順)

石原詢子、城南海、北原ミレイ、城之内早苗、原田悠里、藤あや子、三山ひろし、山内恵介

ほか

司会：近藤泰郎アナウンサー

申込み

NHK ウェブサイトの専用申込みフォームから申し込んでください。

<http://nhk.jp/event>



◀ NHK ウェブサイト専用申込みフォーム

締切 12月10日(金)午後11時59分

※応募の際にいただいた情報は、抽選結果の連絡、アンケートの送付のほか、NHK では受信契約者情報との照合、受信料のお願いに使用することがあります。

注意

※応募多数の場合は抽選の上、当選された方には令和4年1月13日(木)午後1時以降に当選通知メールを送ります。また、入場整理券(1枚で2人入場可)を1月13日(木)頃に発送します。落選された方には、1月13日(木)午後3時以降に、落選通知メールを送ります。

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、間隔をあけた座席を、入場整理券で事前に指定します。

※放送予定日は決まり次第、市公式サイトなどでお知らせします(BSプレミアム・BS4Kにて放送)。

問合せ ハローダイヤル ☎ 050-5541-8600 (午前9時～午後8時。土・日曜日、祝日を含む)

担当 ゆとろぎ ☎ 570-0707 (午前9時～午後5時。月曜日休館)



女性団員の雰囲気・特徴は？



活動の時は団結しているし、普段は共通の話題で盛り上がりたりして、仲が良いと思います。全体的にフワッとした雰囲気です(笑)。

男性団員は「消防活動一直線!」という方が多い気もしますが、女性団員は仕事や家庭とのバランスを考えているところが特徴です。でも「まちを守りたい!」という思いの強さは、男性団員にも負けませんよ!

活動に関心のある方、私たちと一緒にまちを守りませんか。

女性団員としてこれからは、**たいごと、目標など聞かせてください**
小山さん 地域の人と関わる機会をたくさん作って、女性団員の存在を知ってもらいたいです。
神田さん AEDの使い方など、応急救護の方法をもっと皆さんに広めたいと思っています。
小木曾さん 大人だけでなく、子どもたちにも応急救護を知ってもらえるよう、活動していきたいですね。
島田さん 実際に火災や地震などの災害があった時に1人でも多くの市民の方の助けになれるように、救命活動への理解をさらに深めたり、防災減災、有事の際の対応の知識を増やしたり、少しでも多くのスキルを身に付けたいです。
中川さん 最近では、近隣の市町村で

も女性消防団員が活躍していると聞きます。羽村市でも、さらに多くの女性に関心を持って頂き、共に活動して貰えたら嬉しいですね。
高橋さん 入団して良かったと思ってもらえるように、より良い活動環境を作る努力を続けたいと思います。
笑顔が絶えず、穏やかな雰囲気の皆さんでしたが、消防団の話になると、凛として、まっすぐな視線で思いを語っていた姿が印象的でした。
仕事や家庭、学校などがある中で、協力しながら活動している女性団員。1人ひとりが今後の目標を持ち、「地域や身近な人を守りたい」という強い思いを持っていることが、活力の源になっています。
問合せ 広報広聴課広報係 ☎ 339

10月26日、羽村市消防団が表彰されました

福生消防署長から羽村市消防団第3、第4、第5分団に対し、表彰状が授与されました。

7月31日、神明台二丁目で発生した火災に際し、福生消防署隊と連携して、迅速なホース延長と放水により延焼を阻止し、被害を最小限に止めた功績が認められました。

問合せ 防災安全課防災・危機管理係 ☎ 207



羽村市消防団員募集



地域の安全・安心を守るために共に活動する仲間を募集しています。消防団員になりたい方や関心のある方、一緒に活動しましょう!

【入団条件】

市内在住または在勤の18歳以上45歳未満の方

問合せ 防災安全課防災・危機管理係 ☎ 207

